

# 令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①情報と情報との関係付けの仕方や、語句と語句との関係の仕方を理解し、使うこと。 ②主語、述語、修飾語の関係を理解すること。 ③文章を要約したり、要点をとらえたりすること。	①読むことの学習において、文中の助詞や接続詞が何を指しているのか、また、段落相互の関係が理解できるよう指導する。【発見・表現・対話】 ②習熟を図る学習活動の設定や、文の構成に着目させた指導を行う。【決定・表現】 ③段落ごとの中心文を見つけたり、文章全体を一文でまとめたりする活動を取り入れながら指導する。【発見・表現】	B	
算数	①分数の四則計算を正しく行うこと。 ②伴って変わる2量について、変化の規則性をもとに図や式で数学的に表現し、言葉で正しく説明すること。 ③立体の体積を適切な公式を選択し、筋道立てて求めること。	①分数を中心に基本的な計算の方法を理解できるよう、学習することと関連付けながら繰り返し計算演習を行うようにする。【表現】 ②伴って変わる2量について、変化や特徴を正しくおさえ、筋道立てて考えたことを自分の言葉で過不足なく表す学習活動を行うようにする。【決定・表現】 ③体積を求める公式の意味を理解し、問題や図から必要な数値を読み取り正しい公式に当てはめる演習を行うようにする。【決定・表現】	B	
理科	①問題解決の見通しをもちながら観察・実験を行うこと。 ②観察や実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察すること。 ③観察・実験で使用する器具の使い方を理解し、正しく扱うこと。	①問題を見い出す活動、観察・実験の計画を立てる活動を充実させ、興味関心や問題意識を高める。【発見】 ②結果を、表やグラフに整理させる。また、読み取ったことを自分の予想と照らし合わせたり、他者と交流したりして、多面的に考えさせる。【表現・対話】 ③ICT 機器を有効に活用し、児童が器具の使い方を視覚的に理解できるようにする。【発見】	B	
社会	①政治に関する興味・関心をもつこと。 ②歴史上の人物とその功績、当時の時代背景を正確に理解すること。 ③資料から問いを見出し、学習問題をつくろうとすること。	①児童にも身近なことを教材として扱い、興味・関心をもたせる指導を行う。【発見・表現】 ②分かりやすい資料を精選・提示したり、前の時代や現代と比較したりする活動を取り入れ、なぜその人物がそのようなことをしたのかを当時の時代背景と関連付けながら指導する。【発見・表現】 ③問いが生まれやすい資料の精選や提示の仕方の工夫、児童同士の相談活動を取り入れる。【発見・対話・表現】	B	
音楽	①歌唱や器楽活動で、より良い音楽表現に向けて、自分の意見をもち、工夫すること。 ②考えをもってまとまりある音楽づくりができること。	①どのような工夫ができるか例示と共に指導をし、経験を積み重ねていく。互いに意見を共有し合う活動を取り入れ、工夫の手立てを増やしていく。【表現・決定】 ②根拠をもった音楽づくりをするよう心掛けさせ、どのように思いを表すべきか例示を出し、子供の思考の手立てとさせる。音楽の仕組みをわかりやすく提示し、音楽づくりの技能を身に付けさせる。【表現・決定】	B	
図画工作	①材料や用具の基本的な扱いを身に付け、応用したり発展させたりして活動すること。 ②目標や表したいことを見付け、計画的に学習を進めたり調整したりすること。	①既習事項や経験に立ち返る時間を設定し、活用方法や組み合わせ方を工夫する視点を示す。【発見・対話・表現】 ②児童の興味関心から題材設定をしたり、用具や材料を選択できる場面を設定したりする。また、全体の流れや時間配分を確認し、見通しを立てる力、調整する力を養う。【決定】	B	

# 令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

家庭	<p>①裁縫における様々な技能に個人差があること。</p> <p>②学習したことを生かして、家族の一員としてできることを増やすこと。</p>	<p>①ICT機器を活用し、ポイントとなる部分を焦点化して見せる。また、教え合いを通して、技能を定着させる。【発見・表現】</p> <p>②家庭で試したり、役立たせたりするため、チャレンジカードを活用する。また、家庭での実践を授業で報告し合い、共有することで、その後の活動に意欲をもたせる。【決定・対話】</p>	B	
体育	<p>①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。</p> <p>②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択すること。</p> <p>③毎時間の運動量に個人差があること。</p>	<p>①ペアやグループ学習、ICT 機器を活用し、自己の課題を把握したり教え合ったりしながら、より正確な動きを身に付けられるようにする。【対話・発見】</p> <p>②段階的に技能を習得できる場を設け、自分に合った運動を選択できるようにする。【決定・表現】</p> <p>③主運動につながる基礎感覚作りの運動を毎時間継続的に行う。また、場の数やチーム・グループ内の人数を工夫することで、一人一人の運動時間を確保していく。【表現】</p>	B	
外国語	<p>①語彙量・発話量を増やし、基本的な英語表現を理解すること。</p> <p>②基本的な英語表現を理解し、児童の語彙の量を増やしていくこと。</p>	<p>①発話量を増やすためには、語彙の獲得が重要であり、語彙の獲得のためには、繰り返しの練習が必要であるため、デジタル教材用いて、繰り返し練習できるような教材を準備する。【発見・表現】</p> <p>②語彙の練習、復習を同じ流れで毎時間行い定着を図る。授業の初めを復習時間にあて、既習事項と本単元に関係する英語表現を確認する。【対話・表現】</p>	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。